

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
1	F地区	小3	学区	通学区域の選択制について、F地区は選択の自由はあるのか。	学事課	F地区は既存の特定地域はないので、特定地域の設定は考えていない。大谷小の状況もあるので、皆で一斉に転校していただく方向で考えている。
2	不明	小6	通学路	説明の中で、信号の時間を長くする、信号を設置するといった話があったが、それ以外の整備は具体的にどのようなことが考えられるか。	学事課	一般的には、グリーンベルト、注意喚起看板、道路の路面標示、危険な交差点のベンガラの設定等がある。どれを採用するかは警察、道路部局と協議をした上で決めていく。まずは、どこを通るかを定めるのが先。それが決まれば、令和7年度中にある程度危険箇所について対策し開校までにある程度整備できるかと考えている。
3	F地区	R12入学	施設	セキュリティ対策について、具体的にどのような方法を考えているのか。	学校施設整備課	児童、保育園利用者、プール利用者の動線をしっかり分ける。また、学校が休みの時（土日休日、放課後等）にプールを市民に利用していただくことを大前提に考えている。さらに、防犯カメラ等を設置して対策するとともに、校内においては、シャッターなど仕切り、自由に行き来ができないよう、対策していく。
4	F地区	小3	転校に伴うサポート	転校は覚悟しているが、転校後の子どもへのサポートケアを最低限していくということだが、具体的にどのようなことを考えているのか。	学事課	新設小学校を作る場合、馴染みの子どもがいない、見たことない子がたくさんいて、最初は馴染みづらいということがある。新設校については特に、学級担任、学級づくりを考慮していく。また、心配事が生じた際の相談体制は整えている。
5	F地区	小4	通学路	N T T前のT字交差点の方から大和田公園通りに抜ける斜めの狭い道があるが、朝の時間帯は県道2号線に抜けていく車が多いので、通学路にするのであれば、登下校の時間帯車両を通行止めにするなど検討していただきたい。	学事課	御指摘の細い道と、もう少し西側に人が一人通り抜けられるかどうかという抜け道のような道がある。抜け道のような道で行けば車は絶対来ないので、その意味では安心であるが、本当に人が通っていいのかというところを含めて検討している。また、もしN T Tのところの斜めの道を通学路にすることになれば、それなりの安全対策をやっていかなければならないと思うので、御指摘の点も含め安心安全に通えるように考えていきたい。

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
6	F地区	小5	学区	アンケートにも学校選択制にしてほしいという意見がある中で、選択制にしない理由は。	学事課	特定地域を設定するとどれくらいの人数が選択するか事前に確認することがとても難しくなる。また、大谷小は現在かなり子どもが多い状況になっている。この状況を改善するためには、不確実なことではなく、新しい学校ができることを境に一斉に転校していただくということが最善であると教育委員会としては考えている。そういったことで、特定地域を新たには設定しないと考えている。
7	〃	〃	児童生徒数	新設小学校から大谷中に通う生徒数は大体どのくらいの人数か。	学事課	F地区から大谷中に進学する人数は、学年ごとにおおむね40人前後。
8	〃	〃	学区	特定地域を設定しない理由は、学校運営側の希望であって、子どものことを考えてこのような選択をしているのか。開校時5年生で新しい学校に転校になり2年しか通わないで、また大谷中に行く。40人しか行かない。大谷小の中でも少数派で大谷中に行く。子どもがとてもかわいそうに思う。	学事課	大谷小全体、見沼地区全体を考えたときに、大谷小ならびに大砂土東小の今の子どもたちの状況が最善なのかというところを考えると、新設小学校ができる際に、新しい学校に移ることで、今よりのびのびと過ごせる環境にした方がいいと考えている。教育委員会としてはF地区に特定地域を設定することは考えていない。
9	〃	〃	学区	特定地域をずっととは考えていない。新しく入学する子を境に向こう6年間だけ特定地域に設定するというだけでもいいと思う。	学事課	教育委員会としても、今大谷小に通っている子どもはそのまま転校しないで残り、新1年生から新しく入る子だけ新設小学校に通うということも考えたが、新設小学校の学年構成が、1年生だけで新設小学校に通うとか、かなりいびつな形になってしまうということで、教育委員会としては、学校選択制や今大谷小に通っている子どもが残るといふこともしない方がよいという結論である。
10	〃	〃	学区	新しい環境で新しい友達を作るのいいというのは大人の判断であり、子どもがそれを望んでいるかは別。また、小学校6年生で転校となると、卒業アルバムとか新設小学校での思い出が1年しかない。それでも転校させる方がいいというのは本当に疑問。	学事課	望んでいるか望んでいないかで言われれば望んでいないと思うが、全体のことを考えると、子どもの意見だけで進めてしまうと物事が決められないので、御理解いただきたい。

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
11	〃	〃	アンケート	アンケートをもとに反映されていない案があるが、アンケートは何のためにやったのか？	学事課	第一次案をお示しした段階。今いただいている色々な御意見をもとに、今後、最終案に反映させていくが、反映できるものとできないものはある。御意見いただいたものを全て反映させるというわけにはいかないので、教育委員会として合理的と判断した意見は反映させ決定していく。
12	不明	不明	通学路	強制的に新しい学校に転校ということだが、通学路もいつまでどのような改善をするのかも分からない。安全性とか子どものケアとか、具体的な話も何もない。決まっていることは、強制的に新しい学校に転校することだけ。アンケートに関しても、何も回答が出ていない、いつまでに回答があるのか分からない状況。教育委員会がやることに従ってくださいと言われていた。通学路をいつまでに改善するとか、具体的なことを言ってもらわないと安心できない。	学事課	通学路はR6年度中にどこを通るか決めたいと考えている、R7年度1年間かけて、決まったところの中を点検して、その前にも危険箇所を想定してどういう対策をしたらよいかを考えた上で決めることになると思うが、そこで、R7年度の1年間かけて安全対策を実施していくということを考えている。
13	〃	〃	通学路	歩道がないところを1年間でどうにかなるのか？歩道がないところも結構あるが、そこに関しても1年間で歩道を作るということか？	学事課	歩道がないところに歩道を作るのは難しいと考える。歩道を作ればよいが、用地買収とかが関わるとすぐにはできない。用地買収を伴わないでできる次善の策として、グリーンベルトやラバーポールの設置等、なるべく安全に通えるような対策をR7年度で行っていくことを考えている。
14	〃	〃	保護者の負担	旗振り当番とかで、保護者の負担が増えるのでは？保護者の負担増やして強制的にやるのか？	学事課	新しい学校でどういうPTA活動が行われるかは、今後、新しい学校に通う方々で話し合っ決めていくということになると思うが、その中で、危ないところがあれば、旗振りとか、地域の方々の見守りというところが出てくるので、今と同程度なのか分からないが、御家庭の御協力はいただくことになる。
15	〃	〃	施設	外回りにおけるセキュリティについての具体策は、どのように考えているのか。	学校施設整備課	パスにはないが、門扉等は設置して施錠する。具体的には開校準備委員会等においても検討を行うことになるが、登下校時の見守り等についてもできる限りお力添えいただきたいと考えている。

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
16	不明	小5	学区	学区案について、地元の方の意見や歴史的背景で決めているということであるが、アンケートの意見が反映されているのか疑問に思う。拒否することはできるのか。案ということだが決定では。	学事課	第一次案であるが、拒否はできない。F地区の子どもが全員新設小学校に通わない、転校しないで大谷小に残ることはできない。ただし、まだ決定ではないので、どの地区を変えれば全部大谷小に通えるかというところが具体的にあれば検討はできるが、令和8年4月に開校することが決まっていて、そういう状況の中で、ある程度近いところということも含めて学区案を示させていただいているので、基本的には現在の案に近い形で決定していくものと考えている。
17	〃	〃	学区	歴史的とか、地元の方の意見は具体的に聞くことができるのか。私たちが納得できるような形の説明は求められるのか。	学事課	歴史的経緯で決まったというのは、これまで、例えば大谷小の学区ができたときというところの話なので、今回の学区案のB,C,D,E,Fという区分けを歴史的な経緯で決めたというものではない。F地区の今回の案は、蓮沼特定土地地区画整理事業を施行していて、地区としてどこで分けるかという際に最も合理的なところで判断した。蓮沼1丁目、2丁目という境が決まるところで、それ以外のところで切ると、どこで切るのがいいのかというのは合理的に決定できない。教育委員会としては、蓮沼1丁目、2丁目で分かれるというところが、最も合理的と判断して第一次案として決定した。
18	不明	小1	お知らせ方法	今後、御意見やアンケートをもとにR6、R7年度と色々なことを決定していくと思うが、決定したことは、今後このような場で説明会を開催するのか、お知らせとして手紙が届くのか。説明会を開催してもらった方が、皆、安心できる。	学事課	色々な段階があるが、通学区域案等については、どのような形でお知らせするか決まっていらないが、少なくとも学校を通してなり教育委員会からなり個別に手紙ではお知らせする。通学路等はホームページになるのか、全部まとまった形かは分からないが、何らかの形でお知らせする。R8年度に新設小学校ができるが、R8年1月に色々準備していただくことの説明会の場を設ける。また、建物ができたら皆様に見ていただく内覧会を設ける。情報については逐次お知らせするのはホームページになる。ある程度まとまった形になれば、皆様に直接お知らせする形を採っていければと考える。
19	F地区	小3、小4	通学路	看板やグリーンベルトでは不十分。NTT脇の道は抜け道で交通多く速いスピードで抜けてくる。子どもが横断歩道で待つスペースはかなり少ない。教育委員会は、大谷小で登校班で登校している姿を見たことはあるか。1200人が7時50分を目指して学校に向かっている。ランドセルや荷物をたくさん持って歩いている。整備されている歩道もぎゅうぎゅう詰めで歩いて学校に向かっている。それを見たことはあるか。交差点の手前、横断歩道、信号の手前は皆が群れて信号待ちをする。看板とかでは保護者としては不安。子どもが安全に登校できるように歩道橋を作るのは可能か。今の登校の現状を御存知か。しっかり見ていただいたうえで安全対策を練っていただきたい。	学事課	大谷小の通学状況は見たことはあるが、厳しい状況と存じている。全ての区間を見たわけではないが、ぎゅうぎゅう歩いているのは見ている。NTT脇の道を本当に通ることになれば、スクールゾーンにすることも必要と考えている。同意をとらなければならないこともあるので、確実にできると約束はできないが、なるべくそういう形でできればよいとは考えている。現在さいたま市では、歩道橋を新たに作るというのはあまりやっていない。撤去する方向になっている。交差点改良と待機スペース確保等、民間の土地ではあるが使わせてもらえるよう御協力をお願いして、そういったことも実施しながら、危ないところについては、なるべく子どもたちに危険が及ばないような形を最大限考えて対策を練っていきたいと考えている。危険と思われるところを放置することは考えていないので、なるべく子どもが安心安全に通えるような形、できることとできないことはあるが、最大限手を尽くしていきたいと考えている。

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
20	不明	小6	卒業アルバム	新設小に1年間しか通わない。大谷小から転校するよりも圧倒的に大砂土東小から通う子が多い中で、難しいと思うが、卒業アルバムが寂しくなるのが親としては悲しいので、今までの思い出も持っていきたくので配慮していただけると嬉しい。	学事課	卒業アルバムについては、新設小学校ができてからの話になるが、保護者から要望があることは申し伝えていきたい。6年生だけというのは寂しいので、転校前の学校のを使うのか、大砂土東小、大谷小、双方ミックスできるのかということも含めて伝えてきたい。
21	F地区	小6	学区	学校選択の自由がない場合、G地区に転居も検討しているが、その場合はいつまでに手続きすれば転校せずに済むのか。	学事課	令和8年4月の開校前であれば可能。
22	F地区	小6	アンケート	大砂土東小の学区から考えて分けしているということなので、蓮沼は後回しになっていると思う、人数が少ないのもあるが、大谷小から新設小学校に通う人数が圧倒的に少ない。今大谷に通っている子は少なくとも選択制にしてほしい。変わらないのであれば残念極まりない。 資料15ページのアンケートは反対の意見があるが、数が書いていない。例えば、その他の「友達と離れる可能性はあるが、新しい友達できて、学校が近くなるのは良い」という考えの方もいると思うが、並列で書いてあるので、不安の声が消されているようなアンケートの項目だと思う。数がはっきり分かるようなものにしてもらいたい。大砂土東小の地域の方が数が多く大谷小の地域は数が少ないと思うので、大谷小の地域の数はどのくらいか、F地区の数の意見はどのくらいかというのが、非常に分かりづらい。変わらないのであれば、どうすれば変わるようにできるのか、どうすれば少数意見を伝えることができるのか。	学事課	転校は受け入れがたいといった意見はたくさんいただいている。教育委員会、市の中で共有する。直接どう伝えるのかについては、市の広聴部門がある。しかし、要望してもすぐ変わるというわけではない。教育委員会だけではなく市の方針として決めているので、この形で進めていくことを御理解いただきたい。
23	F地区	小4	庁内の横の連携	教育委員会と学童、他の部署との打合せは進んでいるのか。	学事課	放課後児童クラブについては、135人規模のクラブが新設小学校にできるという情報をもらっている。入所方法や民設なのかといったところは今のところ未定。教育委員会としても、放課後児童クラブの所管課とは調整している。

連番	質問者お住まいの地区	質問者お子様の令和8年度学年	分類	質問概要	回答所管	回答
24	〃	〃	通学路	F地区で最近家を建てた方の多くが、学校が近い、安全性を考えてここに家を建てて引越したのに、納得できない方はいる。少なくともこれで決定ということであれば、納得できるような安全対策、そういったものを真摯に受け止めてやっていただきたい。	学事課	通学路は道路所管や警察と、これまでも大谷に限らず市内全域で連携して点検したり安全対策に取り組んでいる。新設小学校開校に向けてこれまで以上に密接に連携して行っていく。
25	F地区	小3	学区	家を買う段階でこの地区に新設校が開校する情報が開示されていなかった状況で、学区について決定事項という言い方をされているようであるが、転校が必須というのは納得できない。F地区の保護者の希望は選択制を強く残すようにという状況を市や教育委員会に持ち帰っていただきたいという。	学事課	たくさん御意見をいただいているが、そういった御意見がたくさんあったというところは持ち帰りたい。